

シンポジウム 1

特別支援学校での実践

「学校教育でのテクノロジー活用分身ロボットを使った実習の経験を中心に」

福岡県教育センター指導主事

待木 浩一 氏

【ご略歴】

広島大学学校教育学部小学校教員養成課程を卒業後、平成10年に福岡県立築城養護学校に勤務、平成13年から福岡県立北九州盲学校、平成22年から福岡県立築城特別支援学校に勤務、26年間障がいのある子供の指導に従事した。その間、特別支援教育コーディネーターとして特別支援学校のセンター的機能の一役に携わった。また、AT（アシスティブ・テクノロジー）やICTを活用した授業実践に力を入れてきた。令和6年4月から福岡県教育センターに勤務。

【報告内容】

「分身ロボット」を使った職場体験実習について報告します。まず分身ロボットの概要について説明し、次に福岡県の事業として取り組んだ県立美術館や九州歴史資料館等での様子や、前任校である築城特別支援学校で取り組んだ町役場や市役所等での様子について報告します。